

放課後子ども教室だよ

川俣たのしい教室訪問

令和2年11月11日(水)訪問

○開設年度	平成29年	○参加者	対象学年：1～6年生
○活動場所	川俣町立川俣小学校	○登録スタッフ	登録児童数：10名
○実施回数	59回	○登録スタッフ	8名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	3時間 水・金曜日 (14:00～17:00)	○活動内容	宿題 運動 自由遊び 創作活動等

子どもの自主性を大切に

今年度、川俣たのしい教室には9名の子どもたちが参加しています。川俣たのしい教室は、川俣小学校の2階児童会室・体育館を利用して活動を行っています。

スタッフはコーディネーターを含めて9名在籍しており、毎回3名で子どもたちの活動支援をしています。コーディネーターとスタッフ全員が特定非営利活動法人コミュニティちゃばたけに所属しています。

訪問した当日は、宿題を済ませた子どもから、折り紙やオセロ、アクアビーズ、体育館でのボール遊びなど行い、楽しそうに活動していました。

スタッフは、子どもたちの活動について、子どもたちの自主性を大切にしながら、子どもたち一人一人の様子を見守り、危険な行為に注意を払いつつ活動されています。

コーディネーターは、学校と子ども教室の運営について必要な事項の連絡を取り合い、実施予定日、参加スタッフ、連絡事項等が記入されたお便りを保護者、スタッフに向けて発行しています。保護者の方が迎えに来てくださった時には、子どもたちの様子をお伝えするなど、情報交換を積極的に行っているそうです。



「好きなこと」に夢中になって取り組んでいます

子どもたちは、宿題が終わると自分が好きなことに取り組みます。訪問当日も、工作に夢中になって取り組む子どもたちの姿が見られました。そんな子どもたちの力作が、教室のあちらこちらに飾ってあります。



コロナ禍における活動のヒント

川俣たのしい教室では、新型コロナウイルス感染症予防のための対策を徹底して行っています。子どもたちが教室に来る前に、スタッフが机や当日使用する道具等すべて消毒した後、子どもたちの手指消毒、検温の準備を行い、入口で子どもたちを出迎えているということでした。

また、体温測定、健康チェックをして子どもたちの体調を確認するとともに、マスク着用を徹底しています。また、ケガについてもすぐに応急処置等の対応ができるよう、教室内に救急箱を備え置くとともに、緊急時の対応マニュアルを掲示し、スタッフがすぐに対応できるよう気をつけているそうです。子どものケガや急病は、いつ発生するか予測できません。緊急時の対応方法をスタッフ間で共有しておくことは、非常に大切なことです。新型コロナウイルスに関する予防対策とともに、万が一感染者が出た場合、どのような対応をするかを決めておくことも重要です。

コーディネーターは「新型コロナ対策は、現状できることを精一杯行っています。体調を崩している子はいないので今後ともしっかりと行っていきます。」とおっしゃっていました。

